



# 令和6年能登半島地震に伴う 緊急消防援助隊派遣（4）

令和6年1月1日（月）16時10分に石川県能登地方で発生した最大震度7（M7.6）の地震に伴い、当署も「緊急消防援助隊愛知県大隊 消火小隊」として石川県輪島市に災害出動しています。

今回は一次隊として、1月1日から1月5日まで5日間小隊長として活動した隊員に話を聞きました。



海部東部消防署警備第二課の笹木です。  
能登半島地震では緊急消防援助隊愛知県大隊第一次隊消火隊の小隊長として災害出動しました。

笹木さんは地震が発生した1月1日に現地に向かわれたということで、状況もわからないまま出動されたと思います。  
5日間の出動について教えてください。



やはり状況がわからない状態で現地に向かうということに不安や緊張感を感じました。  
被災地の状況は、建物の崩壊をはじめ道路の陥没、隆起や崖崩れがひどく何度も迂回を繰り返しながら活動地である輪島市に到着しました。  
水・電気は全て遮断されており過酷な状況で、隊員一同胸が張り裂けそうな想いでした。  
また、隊員の管理を行う立場でもあったため「隊員を全員無事に家族のもとに返す」ということを絶対的な目標として掲げ活動しました。

ありがとうございます。  
大変な環境の中活動お疲れ様でした。



## 【災害派遣を終えて】

派遣隊への温かい応援ありがとうございました。  
私にできることは、この経験を活かし、今後起こりうる大規模災害に対して地元住民の皆様の「生命・身体・財産」を守るとともに【強いまちづくり】に対しても積極的に貢献することと考えています。  
今後も職員一同精進いたしますのでよろしくお願いいたします。